



1年生が大きな声援を背に受けながら、玉入れ競技を楽しみました

豊里小・中学校の運動会は、小学1年生から中学3年生まで一緒にを行います。開会式から閉会式まで、お互いに全ての競技を応援し合います。

合同運動会

中学生と力いっぱい競技

豊里小・中学校の運動会は、小学1年生から中学3年生まで一緒にを行います。開会式から閉会式まで、お互いに全ての競技を応援し合います。開会式の選手宣誓です。



編集委員 阿部佑梓、伊藤暖人、佐々木俊輔、亀井なすな、佐藤瑚波、仙国陽愛、高橋由愛、武山華己、村田菜々美(6年)指導教諭 菅原洋一

豊里小・中

学校名 登米市立豊里小・中学校
所在地 登米市豊里町上町裏100
電話 0225(76)2039
校長 伊藤 浩
児童 350人



サケの稚魚放流

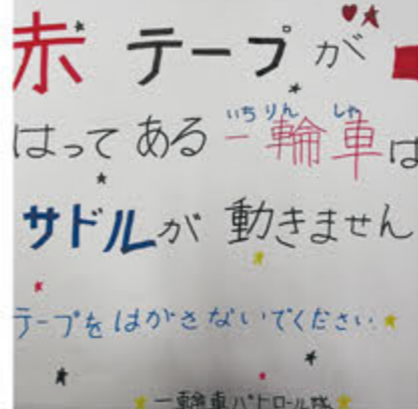
豊里小では2月に5年生がサケの放流を体験します。今年も学校の近くを流れる旧北上川に稚魚を放流しました。小さな稚魚はバケツの中で勢いよく泳ぎ、とても元気がよかったです。放流した稚魚が、この川に戻ってくるのは4年後。私たちは中学3年生になりますが、この学校でサケが戻ってくるのを楽しみに待ちたいと思います。



今回は 東向陽台小(富谷市) 東小野田小(加美町)

袋原小

学校名 仙台市立袋原小学校
所在地 仙台市太白区中田町法地南4の2
電話 022(241)8521
校長 相沢 文典
児童 897人



自ら気づき行動

袋原小学校では、あいさつ運動とちょボラに取り組んでいます。ちょボラは「ちょっとボランティア」。ごみを拾ったり、困っている人のお手伝いをしたりなど、自ら気づき、良いことをしようという取り組みです。学校全体が元気なあいさつとちょボラで、お互いを思い合える気持ちの良い雰囲気に包まれています。



段ボールジオラマに必要な情報を検討している様子

「考える」「調べる」「まとめる」の流れで防災について学びました。まず、前主幹教諭から1994(平成6)年の大雨について聞き、自分たちの住む地域で水害が起こったことを知りました。その後、段ボールジオラマを作る上で必要な情報を話し合い、実際に地域を歩き、危険箇所や避難所などの情報を集めました。そして、それを平面的地図に表した後、段ボールジオラマに情報を載せました。そうすることで立体的になり、いろいろな情報がより分かりやすくなりました。



編集委員 大槻竜雅、山内咲依、阿部志、高城蒼、田中ゆあ、細谷暖、安部穂乃佳、西條結泉(6年)指導教諭 大友雅文、及川慈子、大沼菜織美、高橋慶、高橋久二

「考える」「調べる」「まとめる」の流れで防災について学びました。まず、前主幹教諭から1994(平成6)年の大雨について聞き、自分たちの住む地域で水害が起こったことを知りました。その後、段ボールジオラマを作る上で必要な情報を話し合い、実際に地域を歩き、危険箇所や避難所などの情報を集めました。そして、それを平面的地図に表した後、段ボールジオラマに情報を載せました。そうすることで立体的になり、いろいろな情報がより分かりやすくなりました。

防災の学習

地域の情報をジオラマに

3月10日に仙台市内で仙台防災未来フォーラムが行われ、5年生の代表が発表しました。わたしたちは、「知る」

「知る」の力で防災について学びました。まず、前主幹教諭から1994(平成6)年の大雨について聞き、自分たちの住む地域で水害が起こったことを知りました。その後、段ボールジオラマを作る上で必要な情報を話し合い、実際に地域を歩き、危険箇所や避難所などの情報を集めました。そして、それを平面的地図に表した後、段ボールジオラマに情報を載せました。そうすることで立体的になり、いろいろな情報がより分かりやすくなりました。